

春の叙勲

長きにわたり多大な貢献をされました町内3名の方が受賞されました

瑞宝単光章 統計調査功労



岩本 正人さん
〈統計調査員〉

昭和45年から現在に至るまで、統計に140回も従事していただきました。工業統計調査に関しては昭和49年から38回、その他にも石油等消費構造統計調査、商業統計調査、国勢調査など多数従事。これまでトラブルもなく、町民の信頼も厚いことから模範調査員として、大山町統計調査員全体の質の向上にも大きく寄与されていることが認められました。

統計調査員になられたきっかけは。

県外から帰ってきた時期に、役場職員に声をかけられたのと、もともと父が統計調査員だったこともあり引き受けたのがきっかけです。

大変だったことは。

家計調査という収支の実態を把握する調査で、対象の方の毎日の買い物の金額などを記入してもらわないといけないのが、大変でした。

調査員になって良かったことは。

何度か調査に行くと、顔見知りになり、顔を覚えてもらったことです。

今後、調査員さんになられる方へ。

統計調査は地道なことです、日本の国にはなくてはならないものです。調査票1枚1枚が国に役に立っていますので、今後の活躍を期待しています。

瑞宝双光章 教育功労



岩本 佳子さん
〈元 西部あおば幼稚園長〉

昭和46年から7年間、神戸市内で小学校教諭として勤務。その後、大山町へ引越しされ、県内で10年間学校教育に従事。中山小・中、光徳小、大山中にも勤務。

縁あって平成元年から西部あおば幼稚園に29年間勤務。計46年間教育現場に携わられたことが認められました。

先生になったきっかけは。

こどもが大好きで、小さい頃から「先生になりたい!」と思っていました。

大変だったことは。

短期間でこども達の個性を把握し、こどもを取り巻く環境、何が1番大事かを考えるのが大変でした。そのために、一期一会を大切にどうしたらいかに楽しい学校・幼稚園生活を送れるか、試行錯誤しました。

良かったことは。

成長したこどもに偶然出会った時、「先生!」と声をかけてもらったことです。

みなさんへメッセージを。

先生方は自分自身が現場を楽しむことで、周りを盛り上げてください。

大好きなこどもたちと会え、周囲に支えてもらい、ここまで来ることができました。みなさんに感謝感謝です。

旭日小綬章 地方自治功労



上村 忠史さん
〈元 鳥取県議〉

1990年、旧名和町議で初当選。99年県議の道へ。5期20年県政発展に努められました。2007年から2年間、副議長も務め、様々な分野で尽力されたことが認められました。大学時代は卓球団体で全国大会優勝を果たされた経歴もあります。

県議を目指されたきっかけは。

町議の時、先輩議員に勧められことがきっかけです。

議員生活で大変だったことは。

その時は、あったかもしれませんが、今となれば、特にはないです。あまり気にしない性格なので。あえて言うなら視察などであちこち飛び回らないといけなかったことです。

議員をして良かったと感じることは。

人とのつながりが増えたことです。

今の議員の方へメッセージを。

「町民・県民みなさんを元気にしたい」という気持ちを持って欲しいです。他の町村の良いところをどんどん取り入れてください!